



「三丘よろず承りカフェ～地域の世話焼きおばさん復活～プロジェクト」

machi-mori × 熊毛町商工会 × ほっと三丘コミュニティ協議会

- | | | | | |
|----------------------------------|---|-----------------------------------|--------------------------------|------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 教育・子育て | <input checked="" type="checkbox"/> 地域づくり | <input type="checkbox"/> 福祉・健康・医療 | <input type="checkbox"/> 産業・観光 | <input type="checkbox"/> その他（国際交流） |
| <input type="checkbox"/> 生涯学習・人権 | <input type="checkbox"/> 安心安全 | <input type="checkbox"/> 都市基盤 | <input type="checkbox"/> 環境共生 | |



三丘地区の情報を効果的に提供するために、情報を集約した地域の拠点を立ち上げる

過疎化が進み、子どもの人口減少が大きな課題となっている三丘地区の情報を集約し、効果的に情報を提供するための地域の拠点を立ち上げる。また、空き家の掘り起こしによる移住促進や地区的コンシェルジュとしての役割を果たす“世話焼きおばさん”を復活させ、地域に根付いた活動をしていく。

PROJECT POINT

- ① 移住・観光情報の発信、女性の雇用創出などまちづくりの拠点をつくる
- ② 地元の食材を活用した商品開発

APPROACH

空き家を改修したカフェを拠点として利用し、三丘の問題解決に取り組んだ

“三丘よろず承りカフェ～地域の世話焼きおばさん復活～プロジェクト”的取り組み

情報発信や女性の雇用創出などを考え、まちづくりの拠点・情報発信の場が欲しいと思い共創プロジェクトに参加した。三丘地区にあった空き家を改修し「Taverna TABETA?（タベルナタベタ?）」というカフェをオープン。これまで三丘地区の情報は市民センターを中心していたが、これからはこのカフェを使い空き家などの情報を集約し、発信していく。

“三丘よろず承りカフェ～地域の世話焼きおばさん復活～プロジェクト”的目標

地元の食材を活用した商品開発を進めていき、カフェでの販売を考えている。また、SNSを通じて情報発信を行ったことで、若い世代の方から「お店で働きたい」と連絡があり雇用創出に繋げることができた。こうした活動に取り組みながら三丘地区の情報発信を続けていき、さらにまちづくりを進めていきたい。

【取材日：2018.08.24】